

ダンススポーツ

春 夏 秋 冬 No.78

東京都ダンススポーツ連盟広報誌

第5回 ダンススポーツフェスティバル

in 東京 (土曜)

7月13日(土) 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館



実行委員長
鈴木 彰

7月13日、14日の2日間開催となった今大会は、土曜日がB級～6級、日曜日がグランドシニアA級～D級、そしてミドルシニアA級～D級と多くの区分を盛り込んだものになりました。各区分で昇級を確定させたカップルは、常日頃からの練習が実り、ほんとうにおめでとうございます。長年ダンスを愛好してきて、現役を継続している皆様の姿は、若手選手の見本です。これから10年単位で社会人生活も競技選手も是非続けて行ってほしいものです。若い方は子育ての時期が来たときにも可能であれば継続をしていただきたいものです。そのパワーを社会にもダンスにも発揮して、家族や知り合いをダンスパワーの渦の中に取り込みましょう。健康で充実したダンス生活に邁進していき、日本で一番元気印の中に君臨しましょう。いつまでもスロー、クイック、クイックです。



B級戦ラテン優勝

松本 修・井上 枝美子 (神奈川県)



今大会で優勝できた事、大変嬉しく光栄に思っています。有難うございました。
私たちは、ペアを組んで3年目を迎えました。一週間に1回と限られた練習時間に密度の濃いレッスンで先生と二人三脚でやって来た成果が今回の優勝に繋がったと思っています。(先生とパートナーにはいつも感謝しています)
今後も私達がモットーとしている、お互いを思いやる気持ち、ダンスを楽しむ気持ちを忘れずに練習して行きます。最後に、猛暑の中、一生懸命動いて頂いた役員・スタッフそして審判員の方々に感謝致します。今後も、東京都ダンススポーツ連盟の発展を心よりお祈り申し上げます。



B級戦スタンダード優勝

綾野 晃志郎・三浦 紋 (東部学連)



皆さんはじめまして。綾野晃志郎(東京理科大学)&三浦紋(慶應義塾大学)と申します。
私たちは昨年(3年生)まで二人別々のカップルで学連競技会に出場していました。不運にもそれぞれの相手がダンスを続けられなくなりブランクとなりました。すっかり諦めていたところに友人からの紹介で今のカップル誕生となりました。
他の同級生たちに2歩も3歩も出遅れてしまった自分たちに、必要なものは何かを先生や家族と話し合いました。結論として、できるだけ沢山競技会に出場して、失ったものを取り戻していこうと言うことになりました。
そこで今回DSCJ競技会に初参戦させていただきました。はじめての挑戦にもかかわらず、沢山のあたたかい声援をいただき、運よくB級戦で優勝させていただくことができました。
また、第5回ダンススポーツフェスティバルのスムーズな運営は、選手として大変気持ちよく踊ることができた上、競技会を支えて行く側としても見習うべき点がたくさんありました。
この場をお借りして、会場で応援して下さった皆様と競技会運営スタッフの皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
これからもダンス上達のため、ますます精進していくつもりです。どうぞよろしくお願い致します。

第5回 ダンススポーツフェスティバル in 東京(日曜)

7月14日(日)
駒沢体育館

ミドルシニアA級戦スタンダード 優勝

岩瀬 純夫・恵里子 (東京都)

シニアのみで開催されたこの初回大会で優勝させていただきましたことは大変名誉なことです。世界では年齢区分制で競技会が運営され、選手は自己年齢区分に出場するのが一般的です。また、年齢区分で種目数やジャッジ数に差はありません。しかし、日本では、シニア系競技会は種目数が少なくサブ的な位置付けで残念なことですが、近い将来ミドルシニアだけでも、すべてのA級戦が4種目化され誇れる競技会となることを願っています。

ミドルシニアB級戦ラテン 優勝

大谷 晃也・眞里子 (埼玉県)

ラテンを始めてから37年が経過しました。スタンダードから入ったこともあり、なかなかラテンダンサーらしくありませんでしたが、少しは見えるようになったのかも知れません。10ダンサーを目指して頑張りたいと思っています。

今回はシニアの大会ということもあり和やかな中にも緊迫感もあり、素晴らしい大会でした。

ありがとうございました。

グランドシニアA級戦 スタンダード 優勝

大溝 春樹・真理子 (埼玉県)

初めてのグランドシニアA級戦で優勝でき、とても嬉しく思っています。駒沢体育館は広く、設備もよく、そして、運営して下さるスタッフの方の心使いもありがたく思い、気持ちよく踊ることができました。

私達はカップル歴5年。まだまだできないことも多く、さらに上達できるよう、教えて下さる先生、練習できる環境に感謝し努力していきたいと思えます。思い出に残る大会を開催して頂きありがとうございました。

グランドシニアA級戦ラテン 優勝

井上 敬志・京子 (福岡県)

まさかの優勝コールに思わず二人で顔を見合わせてしまいました。とても嬉しかったです。

私達はスタンダードには出場しなかったので、帰り道、昼食にすし屋で祝杯。暑さと喜びで冷たいビールのおいしかったこと。

またこの喜びを味わえるように、九州で頑張りたいと思えます。

かがやいていますね

中村 勝雄・和美(東村山市)

6月からの試合ゼッケン番号が、前橋での「144」を「一番よし」と読み準決勝まで進み、次の試合立川では「143」で6位入賞、今回のフェスティバルin東京ではなんと「142」でした。順次繰り上がった番号に密かに期待をしながら頑張って踊り、その結果準優勝となり、C級に昇級できたことを喜んでいる夫婦です。

私がダンスを始めるきっかけは、健康を害し適度な運動が必要と考えていた時です。妻が少し前からダンスをはじめていたこともあり、将来夫婦共通の趣味を持つのも良いと思い、怖いもの知らずから無謀にも「ダンスをするからにはスポーツダンスで妻にドレスを着せるまで続けます。」と宣言をしてウォークの一步から始めました。

始めてみますとドレスを着せる目標のほかに、ダンスを通しての世界がどんどん広がっていききました。コーチャー、サークルの仲間、友達から友達と広がっていく人との出会い。日ごろから「正しい姿勢」「体力維持」「健康」など自分の身体との出会い。病気で倒れた人が好きなダンスを再び踊りたいがためにリハビリに励み、みるみる回復していく様子を目の当たりにして「ダンスの力」との出会い。繰り返し練習しても思うように踊れないのを嘆いていると「すぐにできないから長く続けられるのよ。良いことよ。」と先輩の前向きなアドバイスに励まされ、このような魅力的な出会いがあるダンスの世界を楽しみながら、これからも練習に励み生涯スポーツとして続けていきたいと思えます。





杉並区

杉並区は東京23区の西端に位置し人口54万人、古くは与謝野晶子、井伏鱒二、松本清張など文豪が多いことでも知られており、また近年は男女とも東京区市別で長寿1位になりました。杉並区ではスポーツ推進計画を10年計画で推し進めておりますが、その中で健康づくりに役立ちジュニアからシルバー世代まで楽しめる生涯スポーツとしてダンススポーツは寄与を期待されております。

杉並区ダンススポーツ連盟は現在12サークル306名（ジュニアサークル23名）が会員として活動しております。区内のダンス人口はこれら5倍はあると思われまます。

そこで当連盟では総会において二つの活動の目標を制定しました。その一つは「ダンススポーツをいかに理解してもらうか」を掲げ、杉並区教育委員会、杉並区体育協会及び施設管理者の杉並区スポーツ振興財団への働きかけを重ね、昨年度は10年来の懸案事項であった公認ダンススポーツ大会「杉並区民祭ダンススポーツ大会」開催時のアリーナにフロア養生シートを張らずに使用できるようになりました。ご尽力いただきました各方面へ心より感謝申し上げます。

もうひとつの目標は「普及事業で仲間を増やそう」を合言葉

に工夫を重ね、連盟の定例行事の他に東京都、杉並区スポーツ振興財団や各区民センターなど行政が主催での年間行事に「初心者ダンススポーツ講習会」を取り上げてもらい、応募から会場運営まで支援をしていただいております。荻窪体育館主催の「シニア初心者ダンススポーツ教室」は毎月30名募集に対し100名程の応募があり、区報で掲載された募集開始と同時に定員オーバーという状況で、これには私共でも驚いております。

そして講習会を受けて興味を持たれた方々が連盟サークルに入会できるようにと公認指導員を中心に「杉並統一ベーシックアマalgamーション」を作り、講習で指導を始めました。一方、月1回「杉並ベーシック講習会」を実施し受け皿となる連盟加盟サークルへの浸透を図っておる次第です。

このようにしてダンスを楽しみたい方、仲間を求めダンスを始めたい方々が気楽に入れる連盟を目指し試行しております

杉並区ダンススポーツ連盟
理事長 国定 利光



大森会長



武蔵野市

競技に出る選手が少なくなっている状況で、ちょっと寂しい****

しかし、武蔵野市の生涯学習振興事業団と共催のダンス教室は人数が特別減少している訳でもなさそうだ。<はじめてのダンス教室>、<初級教室>、<中級教室>、とあり、女性より、男性軍の方がダンスに熱心と感じる。私は、中級教室で何年間か大勢の受講者が順番に交代してダンスを踊る時、同じ相手に当たらない様、計算して組み合わせの相手の番号をマイクで読み上げていた。同じ相手に当たらない緊張感があり、皆ダンスを愛し一生懸命にステップを覚えようとする熱心さが、そこには漂っていた。若い人も年配の人の中に入って成長が早い、いつも感心させられる！この人達が競技会を目ざし

ダンス界も高齢者社会を迎えた現在、私達は市民の体育向上と文化繁栄に向けて、明るく楽しく、生涯スポーツとしてダンスのリズムを楽しんでいる。最近、余暇を楽しむ男性が多くなっているためか、選手登録をして

進んで行くことを願いたい。

当連盟は毎年、新春ダンススポーツ大会を年初め一番早い大会として武蔵野市から出発を目標に開催し、選手の人達にも好評を頂いている。大会が終わって昇級出来なかったけど、選手の一言、「又、来年も来ますね」との挨拶は嬉しい。これも当連盟会長の精一杯の持て成しの心だろろうか、いやいや会長は経営上手だが、会長を支える周りのスタッフも素晴らしいと感心させられる。人間関係は組織にとって一番大切ではないかと思う。ダンスは「明るく、楽しく、美しく」継続は力なり、会長の合い言葉は良い響きだ。

年齢に負けず、元気な限りダンスを愛したい。

武蔵野市ダンススポーツ連盟
事務局 山本 茂子



都民生涯スポーツ大会

9月15日(日)

駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

実行委員長 浜口 昭男



今年の大会は、台風18号の接近に伴うどしゃ降りの中でのスタートとなった。

前年度優勝チームの世田谷区を先頭に、31チーム約450名の選手団が入場。実行委員長の開会宣言、居樹保明会長の挨拶、金野修己競技長の諸注意、世田谷区連盟の関根純夫・静子組による力強い選手宣誓、大会役員・審判員の紹介の後、全員によるラジオ体操が元気よく行なわれ開会式が終了。

競技は、60歳以上の「シルバーIIラテン」からスタートし、7つの競技区分の1次予選が始まり、熱戦が繰り広げられた。天気も回復し、青空が広がる中いよいよ各区分16組による「準決勝」が開始され、それぞれ8組が「決勝進出」となる。準決勝終了後、北区連盟のフォーメーションが披露され、真面目な演技に称賛と激励の拍手が送られた。

いよいよ決勝戦を迎えて、進出チームの大歓声が会場一杯に響きわたり、興奮が一挙に高まる。選手たちの素晴らしい演技に、会場の観客や他チームからも惜しめない拍手が見られ、スポーツマンらしい美しく爽やかな光景であった。

大会は、江戸川区が優勝、2点差で惜しくも世田谷区が連覇を逃し、幕を閉じた。

最後に、大会役員や多くの方々のご協力に心より感謝申し上げます。



団体戦優勝：江戸川区 江戸川区ダンススポーツ連盟監督 桑田 義孝

江戸川区は2年ぶりに優勝を奪還する事が出来ました!

毎回入選には苦勞しますが、今回は全員が二つ返事で快く引き受けてくれました。これが監督にとっては一番うれしい事でもあります。

今回は最強のメンバーが揃い、他チームからも「今年は江戸川の優勝だね」とか何とか言われながらも自信は有りました。

しかしながら、3組が一次予選、準決勝で敗退し、「やばっ」と思っていたのですが、あとの4組が決勝で上位に入賞し、僅差で優勝する事が出来ました。

当然その後の祝勝会では大いに盛り上がり、もう来年の大会に向けて意欲を燃やしていました。当然連覇を狙いますよ!!

天談主

副理事長 小林 克実

楽しくジルバとブルースを踊ろう

今年のJDSFの方針はジルバとブルースを普及させ会員拡大を目標にしていますが、踊れる方がどの位いるでしょうか?そこで指導員の方に協力してもらい、今全国に指導員が約4400名以上、東京都の指導員が565名位いますので、今年には指導員の研修会でリズムに合わせて体を動かし、楽しくて覚えやすいジルバとブルースを普及活動で取り入れてみることにしました。まず8月3日(土)新宿コズミックスポーツセンターで約140名以上の参加者にジルバを踊っていただき、途中から男性は女性のステップ、女性は男性のステップで踊って勉強をし、とても楽しく踊っていました。他の研修会でも取り入れて、地域のサークルの人やそしてダンスをしていない人にもダンスの楽しさを教えて仲間を誘って下さるよう期待しています。そして来る**10月26日(土)ダンスコレクションin国技館で楽しいダンス体験に参加**しましょう。当日はジルバの講習会やヒップホップ、サルサ、エアロビクなど色々なダンスの催しが行われるので楽しい一日になると思います。一人でも多くの方が参加することによりこのイベントが盛大に開催されますので、ぜひ友達を誘って行きましょう。

JDSF 東京掲示板

平成25年
10/26 ⑤ ダンスコレクションin国技館
12:30~20:10
会場:国技館

平成26年
1/5 ⑥ 新春ダンスパーティー
12:00~18:10
会場:新宿コズミックスポーツセンター

会員募集

オリンピックが2020年東京で開催されます。これからスポーツが益々盛んに!あなたもダンススポーツに参加してダンスアスリートになりませんか。詳しくは、都連事務局にご相談ください。また、(公益社団法人)日本ダンススポーツ連盟(JDSF)のホームページ <http://www.dancesport.jp/> もご参照ください。

発行 平成25年10月1日
発行人 今泉 清隆 (理事長)
編集人 鈴木 勝彦 (広報部長)
企画 広報部

発行所 東京都ダンススポーツ連盟
住所 〒161-0031 東京都新宿区西落合1-28-14 榊原ビル1F
TEL 03(6908)3412 FAX 03(6908)3420
<http://www.jdsf.or.jp/tokyo/> (春夏秋冬掲載中)